



旅するバロック

ハルモニア・レニス
Harmonia Lenis とともに行くバロックの旅

～お気に入りはこの国？～



チェンバロ
村上 暁美

リコーダー
水内 謙一

2022
12/18 日 14:00開演(13:30開場)
クリエイティブ・スペース赤れんがホールII

主催 山口市、クリエイティブ・スペース赤れんが(指定管理者:NPO法人こどもステーション山口)

問合せ CS赤れんが TEL083-928-6666

【チケット料金】 全席自由・未就学児入場不可 一般2,000円
※当日券(2,500円)は残席がある場合のみ販売

【託児サービス】 12月9日(金)までに要事前申し込み。
子ども1人500円

【チケット発売】 11月1日(火)10時～

【プレイガイド】 山口情報芸術センター、山口市民会館
サンパークあじす、C・S赤れんが



ちょっと仕かけのあるコンサート 旅するバロック



今回演奏される曲、

4つの国の作曲家は・・・ **パーセル** **オトテール** **テレマン** **D. スカルラッティ**



コンサートの前半で観客のみなさんはハルモニア・レニスの演奏にいざなわれ、英・仏・独・伊、4つの国を旅します。そのあと、そのなかで一番のお気に入りには投票で答えていただきます。

後半では投票で選ばれた二つの国の音楽に耳を傾けていただき、最後にみなさんでイチオシの曲＝もう一度訪れたい国をえらんでいただきます。

今回は英・仏・独・伊のバロック音楽をリラックスしておたのしみいただく、新しい趣向のコンサートです。

ハルモニア・レニス Harmonia Lenis

リコーダー奏者、水内謙一とチェンバロ奏者、村上暁美によって結成されたバロック・アンサンブル。ドイツ・ケルン音楽大学在学中よりコンサート活動を行い、ヴァイオリンやフルート、チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、歌手等のゲスト・ミュージシャンを加え、レパートリーに応じた多彩な編成で活動している。アンサンブル「レ・タンブル」(フランス)と日欧で定期的にコンサートツアーを行い、ヨーロッパではこれまでに15の音楽祭に出演。

NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」およびNHK-FM「ベストオブクラシック」に出演。CD『甘美なる旋律～17世紀イタリアの器楽作品～』は仏ディアパソン誌にて5つ星を獲得した。 ホームページ <http://barockmusik.sakura.ne.jp>

メッセージ

クリエイティブ・スペース赤れんがで演奏させていただくのは6年ぶりとなります。

今回のコンサートは、演奏曲をお客さまに決めていただくという、かつてない仕掛けのあるバロックコンサートです。最後の1曲はどの曲を演奏するのか、どの国の曲がみなさまのイチオシになるのか?!...そんなワクワク感をお客さまと一緒に感じながら演奏したいと思います。

皆様にお会いできることを楽しみにいたしております。

(水内謙一、村上暁美)



村上暁美 Akemi Murakami (チェンバロ)

桐朋学園大学研究科チェンバロ専攻修了。ケルン音楽大学を卒業し、演奏家ディプロマ及びドイツ国家演奏家資格を取得。現在は国内外でソロや室内楽、オーケストラのソリストとして活発に演奏活動を行っている。国際古楽コンクール(山梨)チェンバロ部門最高位受賞。2022年 同古楽コンクールにて審査員を務める。



水内 謙一 Kenichi Mizuuchi (リコーダー)

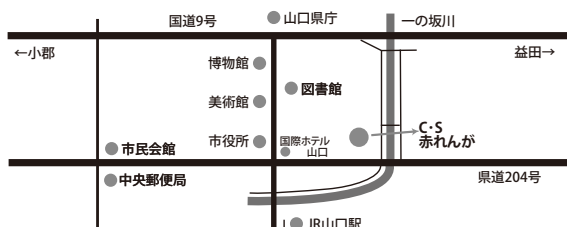
東京芸術大学音楽学部楽理科、ドイツ・ケルン音楽大学ディプロマ課程リコーダー科および古楽アンサンブル科を卒業。リコーダー講師としてNHKラジオ高校講座「音楽1」に出演。リコーダーを向江昭雅、ドロテー・オーバーリンガー、カリン・ファン・ヘールデンの各氏に師事。東京在住。

問い合わせ

クリエイティブ・スペース赤れんが OPEN 9:00~17:00 休館日:月曜日・祝日の翌日
〒753-0088 山口県山口市市中河原町5-12 TEL083-928-6666 FAX083-928-6611
e-mail renga-ya@c-able.ne.jp <http://www.akarenga.justhpb.jp/>

赤れんがへの交通案内

- 山口宇部空港から・・・高速連絡バスでJR新山口駅まで30分
- JR新山口駅から・・・山口線にて山口駅まで24分、同駅より徒歩15分
- お車の場合・・・山陽自動車道(防府東IC下車、または九州・中国自動車道(小郡IC下車)より、共に30分)



チェンバロについて

チェンバロは16-18世紀にヨーロッパの貴族の象徴としてひろく用いられた、鍵盤を持つ撥弦(はつげん)楽器です。鳥の羽軸(うじく)などで作られた小さな爪(プレクトラム)が金属製の弦を下から上へはじくことによって発音されます。

1551年、フランシスコ・ザビエルがキリスト教布教の許可を得るため、大内義隆に「マニコルディオ」という楽器を贈りました。「マニコルディオ」はのちに改良されてチェンバロになったと言われてます。

1995年、山口市はこの史実にちなんで、大内氏の家紋「大内菱」と、ザビエルの紋章を施したチェンバロを製作し、赤れんがに設置しました。爪にはコンドルの羽軸を使っており、優雅で華やかなその音色は聴く人を魅了しています。

18世紀フレンチモデル 2段鍵盤 音域5オクターブ
全長236センチ 幅94センチ 高さ98センチ
楽器製作者 佐藤裕一(神奈川県)
装飾 高倉由美子(宮城県)

